

2019. 4. 23
第7版

大原かがやき新聞

発行所：大原出張所 TEL 075-744-2020

発行人：北部山間かがやき隊 大原担当 田邊 成悟

春の大原

4月になり、菜の花や三^{みつまた}椏、梅が咲き始め、沈^{じんちょうげ}丁花の花の良い香りや、道端や畑、田園でも次々と色彩豊かな花を目にする事が増えました。上旬には桜も咲き始め、大原のいたるところで花が咲き、とても綺麗で華やかな景色が楽しめる季節になりました。山林での山野草も見もので、山の表情も豊かになってきました。

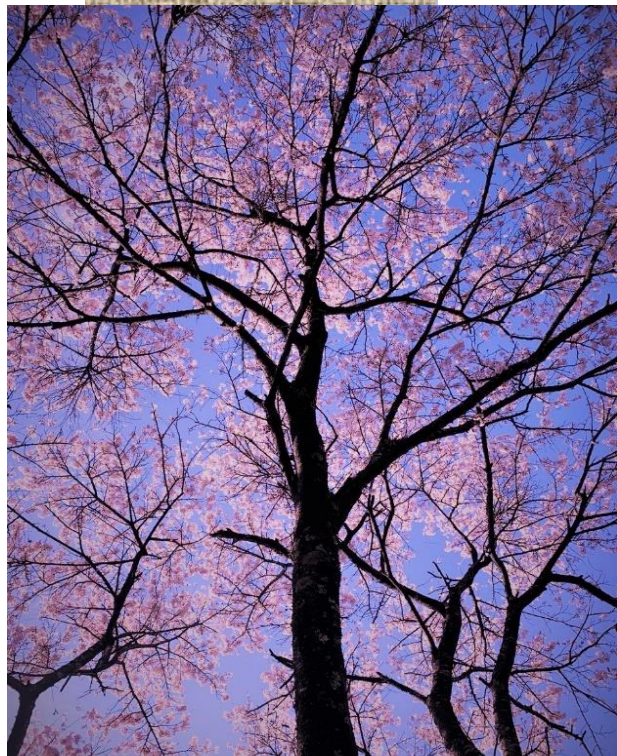
4月9日(火)には京都大原学院入学式が行われ、新たに10名の新入生が加わりました。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

大黒山北寺の桜

4月14日(日)大原小出石町にある、大黒山北寺にて木下進氏による寄贈。桜守佐野藤右衛門氏による選定、施工が施された「^{ゆいざくら}柚姫桜」が植えられ、この日に法要が行われました。

法要後は竜笛の演奏も行われるなど、桜も見頃を迎え、子雨で洗い流された桜は艶のある綺麗な花が咲いており、風情を五感で感じる、とても心地良い時間が流れていました。

※←勝林院町の桜です。



「柚姫桜」

百井の里 地域課題学習会

3月31日(日)大原百井町の旧大原百井分校にて、「百井の里 地域課題学習会」が開催されました。

ゲスト講師として、京都大学大学院 経済学研究科 教授 岡田 知弘氏をお招きし、

「持続可能な地域づくりを考える」という題目のもと講演が行われました。グローバル競争に左右されない個性あふれる持続可能な地域・まちをつくるための学習会となりました。およそ35名の来場者が来られ、様々な地域の課題や事例、活性化についての考察など、多岐に渡りました。来場者の方々も、とても熱心な様子で聞き入り、地域の状況とを照らし合わせているようでした。

百井の里「菊芋パウダー」

3月27日(水)大原百井町で特産品として、生産、研究、販売が行われている「菊芋」の加工品、「菊芋パウダー」が作られ、販売が開始されました。

「菊芋パウダー」とは新鮮な百井産の菊芋を一年中食べられるようにと、乾燥処理後、微粉末化したもので、料理やお菓子などに加えるなど多様な調理方法で手軽に「イヌリン」を摂取できるようにした商品です。

「イヌリン」の効果的な摂取には食前や食事と一緒に良いとされています。この「菊芋パウダー」は現在、「里の駅 大原」にて絶賛発売中です。

